

# ROBO-SOCCER 競技規則

## 【注意】

この競技規則に特筆されていない部分については、一般常識および実際のサッカーの競技規則に準じ、常識の範囲内で判断するものとする。一切の判断は、競技委員長の決定を正とする。

## 【ピッチ】

- ・ 4.8m×3.6mで、ブルーのマットで囲まれたエリアとする。
- ・ ピッチの材質は以下のものとする。

カインズホーム パーソナルブランド CHジョイントパンチマット

(参考：<http://www.cainzhome-online.com/system/item/3912/>)

## 【ボール】

- ・ ジュニア用硬式テニスボールとする。
- ・ 公式球として下記のものを使用する。  
メーカー：ブリヂストンスポーツ株式会社  
商品名：SOFT NON-PRESSURE (ソフト ノンプレッシャー)  
商品番号：BBA56B  
直径：約 6.5cm  
重さ：約 43g  
色：ORANGE

## 【ロボットについて】

- ・ 使用するロボットの規格については、別のある【機体レギュレーション】にて規定する。
- ・ 使用するロボットは、同一チームであることが識別できるようにすること。
- ・ ゴールキーパーのロボットは、それが明確に分かるようにすること。

## 【ロボットの移動について】

- ・ ピッチ上でのロボットの移動は2足歩行を原則とする。
- ・ 前転、後転、側転等の移動は禁止しないが、他のロボットに接触した場合は、危険行為として反則とする。

## 【ロボットの台数】

- ・ 1チーム4台（1台はゴールキーパー）とする。交代要員は1台まで。
- ・ 試合開始時にゴールキーパーのロボットを審判に申告すること。

## 【試合方法】

- ・ 4台のロボットから構成される2つのチームによって試合を行う。
- ・ 試合時間終了時に相手チームより多くの得点をしたチームを勝ちとする。
- ・ 予選リーグで両チームが同点の場合、試合は引き分けとする。

- ・ 決勝トーナメントで両チームが同点の場合、PK戦を行う。
- ・ PK戦は試合終了時にピッチ上にいたロボットのうち、ゴールキーパーを除く各チームのロボットでPK戦を行う。
- ・ 3回のPKにおいて決着がつかない場合はサドンデス方式で行う。

#### 【試合時間】

- ・ 試合時間は各大会で定めるものとする。
- ・ ロスタイムは原則として取らないが、審判の判断により取る場合もある。

#### 【ロボットの交代について】

- ・ ロボットを交代することに対し、回数および再入場に関する制限は無い。
- ・ ロボットを交代する場合は、事前に審判に交代の意思を伝え、試合が中断した時に審判の指示に従って速やかに交代を行うこと。

#### 【試合開始について】

- ・ 試合開始のキックオフは、代表者同士のじゃんけんで決める。
- ・ キックオフが行われるまでは、各ロボットは相手エリアおよびセンタースクウェア内に侵入してはならない。
- ・ キックオフからの直接ゴールは認められる。

#### 【試合中について】

- ・ 試合中に反則が行われた場合は、相手チームにフリーキックを与える。
- ・ 試合中は原則として、操縦者は敵味方に関わらず、すべてのロボットに触れることを禁止する。
- ・ フリーキックを行う際、相手チームのロボットはすべて、マット2枚分（約600mm）以上離れなければならない。
- ・ ロボットが絡み合う、もしくはボールがロボットに引っ掛かった場合、審判の判断によりニュートラルスタートで再開する。その際、すべてのロボットはボールからマット1枚分（約300mm）以上離れなければならない。
- ・ 試合中の転倒においてすみやかに起き上がれないロボットは、審判の判断でピッチ外に退場させる。再入場の際は、審判の許可を得てピッチに再入場すること。
- ・ ペナルティエリア内のゴールキーパーのロボット以外はロボットの手はボールに触れてはならない。ボールに手が当たったことで優位になったと審判が判断した場合は、ハンドの反則とする。ただし、審判が故意と判断しなかった場合は反則とならない。
- ・ オフサイドは適用しない。
- ・ 試合中断からの再開（キックオフ、キックイン、ゴールキック、コーナーキック、ニュートラルスタート、フリーキック、ペナルティキック等）においては、すべて審判の笛の合図により再開する。

#### 【ペナルティエリア内のロボット台数制限について】

- ・ ペナルティエリア内では、同一チームのロボットは1台しか入ってはいけない。ただし

ゴールキックの時のみ、ゴールキーパー以外にキッカーとしてのロボットの侵入を認めるものとする。キッカーのロボットは、ゴールキック後、速やかにペナルティエリア外に出なければならない。

- ・ ペナルティエリア内に同一チームのロボットが複数いる場合は、速やかにどちらかのロボットがペナルティエリア外に出なければならない。
- ・ 審判の指示に従わず、ペナルティエリア内に同一チームのロボットが複数いる状態が続く場合、そのすべてのロボットに非紳士的行為の反則とし、イエローカードを与える。試合の再開は、反則を犯したチームの攻撃時・守備時を問わず、相手チームによるペナルティキックにより再開する。
- ・ ペナルティエリアに侵入しているかどうかの判断は、ペナルティエリアの境界線をロボットの足裏が踏んでいるかどうかで判断をする。足裏の一部でも境界線を踏んでいる場合は、侵入しているものと判断する。

#### 【ボールアウトについて】

- ・ タッチラインからボールが出た場合は、相手チームのキックインで再開する。キックインのためのボールおよびロボットの準備は、審判が行うものとする。
- ・ キックインから直接得点することはできない。
- ・ キックインで相手ゴールに直接入った場合、相手チームのゴールキックで再開する。
- ・ キックインで直接オウンゴールした場合、相手チームのコーナーキックで再開する。
- ・ ゴールラインからボールが出た場合、ゴールキックもしくはコーナーキックで再開する。
- ・ ゴールキックの際、それぞれのロボットは自陣内に居なければならない。ゴールキックを蹴る前に相手陣内に入り込んだ場合は、ゴールキックのやり直しとする。
- ・ ゴールキックからの直接ゴールは認められない。
- ・ コーナーキックからの直接ゴールは認められる。

#### 【ゴールキーパーのキャッチ判定】

- ・ ゴールキーパーのロボットがペナルティエリア内で5秒以上ボールに触れている場合、もしくは他のロボットが直接ボールに触れない状態が5秒以上継続した場合、その他審判の判断によりゴールキーパーのキャッチ判定とし、ゴールキックにより試合を再開する。ただし、ゴールキーパーのロボットがボールを手で掴む等保持している場合は、5秒には含まない。

#### 【バックパスについて】

- ・ ゴールキーパーにボールを蹴ってパスした場合、もしくはゴールキーパーのロボットが味方のロボットの足にボールを当てて戻した場合、ゴールキーパーはそのボールを手で扱うことはできない。もし手で扱った場合はハンドの反則とする。

#### 【ゴールについて】

- ・ ゴールポストの内側とクロスバーの下をボールの全体がゴールラインを越えた時にゴールと認め1点を与える。

- ・ ゴールからの試合再開は、相手チームのキックオフから再開する。
- ・ ゴールキーパーのスローイングによる直接ゴールは認められない。

#### 【ペナルティキックについて】

- ・ ペナルティエリア内で守備側のチームが反則を犯した場合、攻撃側のチームにペナルティキックを与える。
- ・ ペナルティキックは、ペナルティエリアの境界線上、ゴールの正面から行う。
- ・ ペナルティキックの際、キックをするロボットおよび守備側のゴールキーパー以外のロボットは、ペナルティエリアのラインよりもセンターライン側にいなければならない。
- ・ ペナルティキックにおいて、キッカーが蹴ったボールにゴールキーパーが触れる、もしくはゴールに接触するまでは、ボールをキックしたロボットを含めペナルティエリアに進入した場合は、ペナルティキックのやり直しを行う。

#### 【審判について】

- ・ 試合は、任命された試合に関して競技規則を施行する一切の権限を持つ主審によってコントロールされ、審判への抗議はこれを一切認めない。
- ・ 副審は主審が競技規則に従って試合をコントロールすることを補助する。
- ・ 主審および副審は、その試合が行われる前の試合の各チームより1名ずつ選出する。

#### 【主な反則について】

主な反則の名称とその内容を以下に示す。

- ・ ハンド : 故意にロボットの手および腕でボールに触れた場合。
- ・ チャージ : 他のロボットに激しく接触した場合。
- ・ ディレイ : 故意に試合の進行を遅らせた場合。(遅延行為)
- ・ マルチプルオフフェンス : ペナルティエリア内に攻撃側のロボットが複数いる場合。
- ・ マルチプルディフェンス : ペナルティエリア内に守備側のロボットが複数いる場合。
- ・ キーパーチャージ : 直接および間接的にゴールキーパーに物理的圧力を加えた場合。
- ・ **ダブルタッチ** : ペナルティキックにおいて、それを行ったロボットが、相手ゴールキーパーのロボットがボールに触れる前もしくはゴールに触れる前に再びボールに触れた場合。
- ・ 非紳士的行為 : 審判の指示に従わない等競技者として相応しくない行為をした場合。

#### 【深刻な反則について】

- ・ 反則の内容が深刻な場合、審判はイエローカードもしくはレッドカードを与える。
- ・ イエローカードは2枚、レッドカードは1枚でその試合について退場処分とする。
- ・ 退場処分によるロボットの欠員補充は認めない。
- ・ ~~退場処分になったロボットおよびそのオペレータは次の1試合は出場できない。~~
- ・ 競技に相応しくない攻撃モーション(パンチ等)を発動させた場合、味方および相手チームのロボットに当たった場合はレッドカードを与え、即退場処分とする。当たらなかった場合はイエローカードを与える。

## 【Q&A】

Q：イエローカードは試合後も累積しますか？

A：累積しません。試合終了時にリセットされます。

Q：起き上がりモーション中のロボットによるゴールは認められますか？

A：認められます。ただし、オウンゴールの場合を除き、手に当たって入った場合は無効とし、ゴールキックにて再開します。

Q：キックオフの際によく見る“両手両足”を広げた状態の時、ボールが手に当たった場合は反則になりますか？

A：反則になります。加えて、故意とみなしイエローカードの対象にもなります。

Q：ゴールキックの際、ゴールキーパー自身がボールを蹴った後ボールを掴んでスローすることは認められますか。

A：認められません。ゴールキーパーの自分自身へのバックパスと判断し、反則とします。ただし、プレーの中でゴールキーパー自身が蹴ったボールを掴むことは、バックパスとは判断しません。

Q：キックイン、ゴールキックなど、ダブルタッチが認められているリスタート方法において、大きく蹴りだすのではなく、ドリブルによりボールを進めてそのままゴールした場合、もしくはシュートをしてゴールした場合はゴールと認められますか？

A：認められます。

**【履歴】**

2010年07月10日 ROBO-SOCCER 2010 に向け更新  
2009年11月20日 更新  
2009年10月14日 ROBO-SOCCER 2009 に向け新設